



日本赤十字社

## 武蔵野赤十字病院



## 腹腔鏡手術トレーニングセンター

頼れる病院をめざします



トレーニング指導中の加藤外科副部長

### 基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

## アドバンス助産師について

### アドバンス助産師の活躍に期待



周産期母子医療センター看護師長 林 雅代

日本看護協会では2015年8月に助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)"CloCMiP(クロックミップ)"レベルⅢ認証制度が開始され、当院でも2016年12月に18名の助産師がこの認証制度でレベルⅢを認証されました。

認証を受けた助産師は「アドバンス助産師」と呼ばれ、自律して助産ケアを実践できる能力を認証されていることから、院内助産や助産師外来などで専門性を発揮することが期待されています。

当院では、2002年から助産師外来を開設しており、現在は医師の産科外来と同様に助産師がエコーを使用し、妊婦健診を行っています。

妊娠期から分娩期、産褥期、育児期と切れ目のない関わりをすることで、母と子の「産む力、産まれる力、育てる力、育つ力」を最大限に引き出せるよう日々助産師が関わっています。

そして地域の皆さまのニーズに応え、信頼される安全安心なチーム医療を提供し、満足のいく出産を目指しています。

そのためにはアドバンス助産師の高い実践能力が不可欠です。高い実践能力がある助産師がいることが当周産期母子医療センターの自慢であり、さらに多くの場での活躍を期待しています。



### ●公開講座



### お知らせ

講座名	開催日	時間	場所	受講料	申込	問合せ先
糖尿病教室	7/1、9/2	13:00~15:00		無料	不要	医療社会事業課
心臓病教室	7/26、9/27	14:00~15:00		無料	不要	循環器科外来
がん患者・家族交流会	7/20	14:00~16:00	3番館1階 山崎記念講堂	無料	不要	がん相談支援センター
肝臓病教室	8/1	14:30~16:00		電話 0422-32-3115(直通) 月~金 9:30~16:00	電話 0422-32-3115(直通) 月~金 9:30~16:00	肝疾患相談センター
プレおばあちゃん教室	7/19、9/20	13:00~15:00	母子保健相談室	3,000円/1人	産婦人科外来	産婦人科外来
健常生活支援講習会 「スマイル教室」	7/12、9/14	10:00~11:00 14:00~15:00	1階アトリウムランジ 同じ講習を午前と午後 2回実施します。	200円 200円	医療社会事業課 (内線7113) 定員10名	医療社会事業課

★詳しくは当院ホームページ「病院からのおしらせ」・「公開講座・イベント」等でご紹介しています。

# 腹腔鏡手術トレーニングセンター



外科副部長  
加藤 俊介

腹腔鏡手術トレーニングセンターは、今年新たに設置されました。

その名の通り、当院における腹腔鏡手術のレベルを底上げする役割を担います。

近年、腹部手術のキーワードは「低侵襲」です。

高齢の患者さんが増加する中、なるべく負担をかけないで治療を行うことが重要なになってきています。

その代表が、腹腔鏡手術です。これまでのお腹を大きく切る開腹手術と同じ内容の手術を小さな創で行う手術です。



(写真1) 腹腔鏡手術のようす



(写真2) 実際の手術での指導

腹腔鏡手術の優れた点として、創が小さく見栄えが良いことがまず頭に浮かびますが、それ以上に重要なことがあります。創の痛みが少ないため、術後早くから動くことができます。これにより、術後肺炎や腸閉塞が減少することがわかっています。高齢の患者さんは1日寝たきりだと、元に戻るのに3日かかるとされていますので、手術の翌日から歩きやすくなる腹腔鏡手術はメリットの大きい手術と言えます。

一方で、腹腔鏡手術は医療者側からすると、難しい手術です。お腹の中を手で触らざるに、(写真1)のような器具を使って手術するのが大変なのは想像に難しくないと思います。技術が伴わない手術チームが腹腔鏡手術を行うと、かえって患者さんにご迷惑をかける結果になってしまいます。

当院では胃癌・大腸癌・腎癌・副腎癌・尿管癌・子宮体癌などで腹腔鏡手術を取り入れ、その比率が増加しております。1例を挙げると、大腸癌の約半分を腹腔鏡手術で行っています。また、虫垂炎・胆石症・鼠径ヘルニア・良性副腎腫瘍・子宮筋腫・良性卵巣腫瘍といった良性疾患にも積極的に腹腔鏡手術を行っています。

患者さんにメリットの大きい腹腔鏡手術を安全に提供できる病院を目指し、腹腔鏡手術トレーニングセンターを開設しました。

具体的には、筆者を含めた腹腔鏡に習熟したトレーニングセンタースタッフ(外科医、婦人科医、泌尿器科医で構成)が院内の研修医及び若手医師に定期的にトレーニングボックスを用いた技術指導を行います。



トレーニングのようす



また、実際の腹腔鏡手術においても、定型化を推進することで安全的確な手術を実践・指導します。(写真2)

質の高い手術を安心して受けさせていただけるように努力してまいります。  
どうぞよろしくお願い致します。